

科目名 Course Name	FP 講座 I FP Lesson I			ナンバリング No.	C1-007		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	個人の家庭のライフプランをベースに、貯蓄や投資、保険、年金、不動産、税金、相続などを包括的にアドバイスする専門家＝ファイナンシャルプランナーの育成を目指す。専門家として必須の国家資格である FP 技能士 3 級検定試験の合格を目指す。						
授業の方法	授業の中でグループワークによる問題演習にも取り組む。事前学習の内容は前の授業で説明する。事後学習は、リフレクションシートに答えることである。						
学習成果	L01	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	大きな支出といわれる住宅資金、教育資金、社会保険全般の専門的知識を取得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	問題演習は模範解答を示し、フィードバックする。						
教科書/参考図書	FP 技能士 3 級最速合格ブック '25→'26 年版 株式会社マネースマート著（成美堂出版）						
履修上の留意点やルール等	C-Learning で出席入力を行いますので、遅刻しないように教室に集まること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。C-Learning による小テストには提出期限を設ける。期限後提出は採点しない。授業中スマートフォン等は使用しないこと。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:FP 事務所経営 職歴:2009 年～現在に至る)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。				
レポート/作品					
発表					
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 40%とする。	20	20		
試験	定期試験の評価割合は 60%とする。	30	30		
その他					
合 計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、金融資産運用設計①:マーケット環境の理解
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
2	授業内容	金融資産運用設計①:マーケット環境の理解
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
3	授業内容	金融資産運用設計②:預貯金・金融類似商品等
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
4	授業内容	金融資産運用設計③:投資信託
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
5	授業内容	金融資産運用設計④:債券投資(1)
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
6	授業内容	金融資産運用設計⑤:債券投資(2)株式投資(1)
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
7	授業内容	金融資産運用設計⑥:株式投資(2)
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
8	授業内容	金融資産運用設計⑦:外貨建て商品、金融派生商品
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
9	授業内容	金融資産運用設計⑧:ポートフォリオ運用、金融商品と税金
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
10	授業内容	金融資産運用設計⑨:セーフティネット、関連法規
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
11	授業内容	ライフプランニングと資金計画①:FP 倫理、関連法規
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
12	授業内容	ライフプランニングと資金計画②:ライフプランニングの考え方、手法
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
13	授業内容	ライフプランニングと資金計画③:社会保険
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
14	授業内容	ライフプランニングと資金計画④:公的年金(1)
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習
15	授業内容	ライフプランニングと資金計画⑤:公的年金(2)
	事前・事後学習	授業内容に対応する問題演習